

01 シンポジウムに参加して 歴史まちづくりへの第一歩を

☎ RAC ☎027-210-2066

歴史まちづくりシンポジウムを開催。歴史文化がかおるまちづくりに向けて、午前の部は国土交通省の石川啓貴さん、文化庁の梅津章子さん、群馬地域学研究所の手島仁さんが講演。午後の部では、歴史的風致維持向上計画の認定市町村の事例報告のほか、パネルディスカッションも行います。

日時=9月27日(日)〈午前の部〉9時45分〈午後の部〉13時
会場=中央公民館ホール
対象=一般、先着120人
申し込み=当日会場へ直接



藩宮前橋製糸所(提供元 宮内庁書陵部)

03 朔太郎音楽祭2020と 前橋原風景展を開催

☎ 前橋文学館 ☎027-235-8011

●マンドリンオーケストラ演奏会

青山忠さん指揮で高校生とプロがマンドリンアンサンブルを演奏。詩の朗読とテノール歌手・近野桂介さんによる朔太郎詩の独唱もあります。

日時=10月18日(日)14時
会場=昌賢学園まえばしホール
対象=一般、300人(抽選)
申し込み=9月20日(日)までに往復ハガキで。住所・氏名・電話番号を記入し、〒371-0022千代田町三丁目12-10・前橋文学館へ

●同時開催「前橋原風景写真展」

写真家の井上道夫が撮影した昭和30年代の前橋をパネルで展示します。

日時=10月15日(木)~18日(日)、10時~17時
会場=昌賢学園まえばしホール



02 地元食材を使って 料理を作りませんか

☎ 農政課 ☎027-898-5841

前橋産小麦粉を使って、炭酸まんじゅうと手打ちうどんを作る郷土料理講習会を開催します。詳しくは本市ホームページをご覧ください。

日時=10月2日(金)・8日(木)、9時30分~12時30分
会場=地産地消センター(富田町)
対象=市内在住の人、各8人(抽選)
費用=各800円

申し込み=9月14日(月)(必着)までにハガキで(1人1通)。住所・氏名・電話番号・希望日を記入し、市役所農政課へ



Vol.3 前橋藩主松平大和守家 前橋四公の城下町を歩く

☎ 文化国際課 ☎027・898・6992

江戸時代に現在の市域内を治めた、前橋藩主の酒井雅楽頭家と松平大和守家、総社藩主の秋元越中守家、大胡藩主の牧野駿河守家の「前橋四公」。

このシリーズでは、城下町を歩いて発見できる近世前橋に四公が生きた痕跡と番外編を、全5回で紹介いたします。今回のテーマは松平大和守家です。

引越し大名!松平大和守家

12回もの国替えを繰り返し、引越し大名と呼ばれた松平大和守家。昨年、星野源さん主演の映画



松平藩主画像
所蔵:孝頭寺

●前橋城再築と安井与左衛門
るなばあくの敷地内に佇む「安井与左衛門政章功績碑」は、前橋城再築における安井の功績を今なお伝えていきます。安井は、前橋復興計画を説き、藩費に頼らず領民の力で新田開発などを成功させたほか、利根川を改修し、前橋城再築の基を作りました。舞台が整った前橋領民は多額の献金を集め前橋城を再築。1867年、遂に11



安井与左衛門功績碑

代直克公が帰城を果たしたのです。再築前橋城は、函館の五稜郭に並ぶ最新式の城郭を誇ったといえます。前橋城址之碑が建つ県警本部北側の土塁は、その代表的な遺構です。

●前橋東照宮

初代直基が徳川家康の遺徳をしのび創建。国替えの度に移築され、1871年に現在地に造営されました。松平家の家宝「御手杵の槍」は天下三名槍の一つとして称され、ゲームやアニメなどで有名な『刀剣乱舞』



御手杵の槍
所蔵:前橋東照宮

のキャラクターとして人気を博しています。東京大空襲により焼失しましたが、

2016年、17代当主の直泰氏が復元し、現在は同社に常設展示されています。

●孝頭寺

初代直基が建立した、松平家の位牌寺。初代から8代までの松平藩主画像など、貴重な文化財が所蔵されています。境内にある松平直克公墓は、長らく都内の寺で守られていましたが、11代直克公が前橋城を再興してから150年の節目であった2017年、地元顕彰団体・結城松平博喩堂報恩舎の手で孝頭寺に里帰りを果たしました。

松平家歴史観光ガイド

前橋学市民学芸員が東照宮コース(東照宮、るなばあく、源英寺、神明宮)か孝頭寺コース(東福寺、隆興寺、養行寺、正幸寺、孝頭寺)を案内します。

日時=10月18日(日)10時~12時
対象=一般、先着各15人
申し込み=9月7日(月)~23日(水)に文化国際課 ☎027-898-6992へ